

日本海大和堆周辺水域における外国漁船への対応状況について (平成30年漁期)

- 日本海の大和堆周辺水域は、我が国の漁業者によりイカ釣り漁業、カニかご漁業、底びき網漁業が行われており、重要な漁場となっていますが、近年、特にイカの漁場が形成される6月から12月にかけて、同水域周辺で北朝鮮漁船及び中国漁船による違法操業が確認されています。
- 現在、北朝鮮漁船は大和堆北方の我が国排他的経済水域（EEZ）の外側に多数存在しており、我が国EEZへの侵入を試みています。そのような中で、水産庁の漁業取締船は、海上保安庁の巡視船とも連携し、これら漁船に対し放水等の厳しい対応を行い、日本漁船の安全操業を確保しております。【下図】
- 水産庁が退去警告を実施した外国漁船は、本年5月から延べ4,481隻（本年当初からは4,483隻）に上ります。（平成30年10月17日現在）

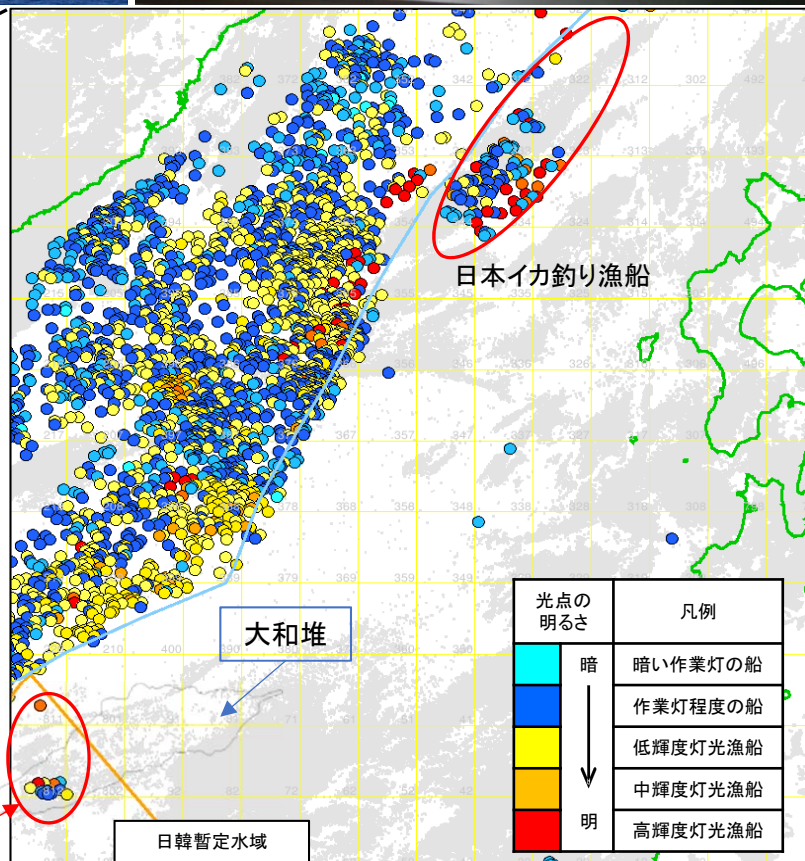
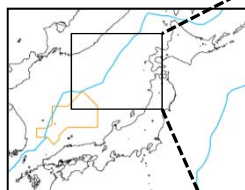


北朝鮮漁船(鋼船)



水産庁漁業取締船による北朝鮮漁船(鋼船)に対する放水退去警告

10月16日の漁船等の状況



・ 図中の○(丸印)は、夜間の衛星画像から光を抽出したもの(明るさの度合:水色<青<黄<橙<赤)で、操業中の漁船のほか、航行中の漁船や一般船舶も含まれます。明るさは、雲や月明かりの影響を受けます。

・ 目安として、水~青色(暗い作業灯~作業灯程度の船)は北朝鮮漁船(木造船)、日本カニかご漁船等、黄色(低輝度灯光漁船)は北朝鮮中型イカ釣り漁船(鋼船)等、橙~赤色(中~高輝度灯光漁船)は中国・韓国・日本イカ釣り漁船等の可能性があります。

韓国イカ釣り漁船等

大和堆

日韓暫定水域

光点の明るさ	凡例
暗	暗い作業灯の船
作業灯程度の船	作業灯程度の船
低輝度灯光漁船	低輝度灯光漁船
中輝度灯光漁船	中輝度灯光漁船
明	高輝度灯光漁船